

令和8年度 静岡県西部ハムの祭典参加状況

開催日 2026年5月24日

開催場所 浜松卸商センター アルラ

5月24日開催の「静岡県西部ハムの祭典」では、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

開催時期を春に変更して4年目となります。多くの方々に開催時期を認知していただき、現在では多数の来場者が集まるイベントとなりました。一方で、アマチュア無線愛好家の減少や高齢化が進んでおり、今後のイベント運営においては、来場者数が減少する局面への対応も考えていく必要があると感じています。社会の変化に柔軟に対応しながら、持続可能なイベントとして、今後も企画・運営を続けていきたいと思っております。また、「持続可能」という点では、運営団体である静岡県西部アマチュア無線連絡協議会においても、メンバーの減少や高齢化が大きな課題となっています。限られた人数で運営を行っているため、ご不便をお掛けした場面もあったかと思いますが、多くの参加者の皆様が「一緒に作る祭典」という意識のもと、協力し合いながら楽しまれている様子がうかがえました。

今年に来場者数は、配布したプログラム部数を基にした概算で約550名となり、昨年とほぼ同数でした。また、回収した受付票（アンケート）も昨年とほぼ同数でしたが、オンライン回答の割合が全体の約10%となり、昨年の約2倍に増加しました。工学系の趣味であることや、デジタル世代の若者へのアピール、さらには業務改善の面でもメリットがあるため、今後も継続してオンラインを実施していきたいと考えています。

アンケート結果によると、今年は静岡県・愛知県以外の地域からの参加者がやや増加したようです（東京、山梨、長野、九州など）。また、JARL非会員の方も増加していました。無線歴1～2年程度の新しい方々の参加も多く見られ、アマチュア無線の魅力を引き続き発信していくことで、若手を含めた無線人口の増加や、JARL会員数の増加にもつながるのではないかと期待しています。

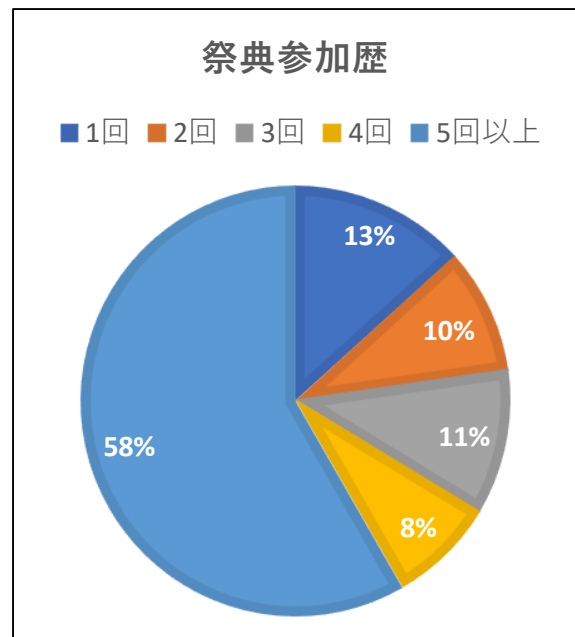
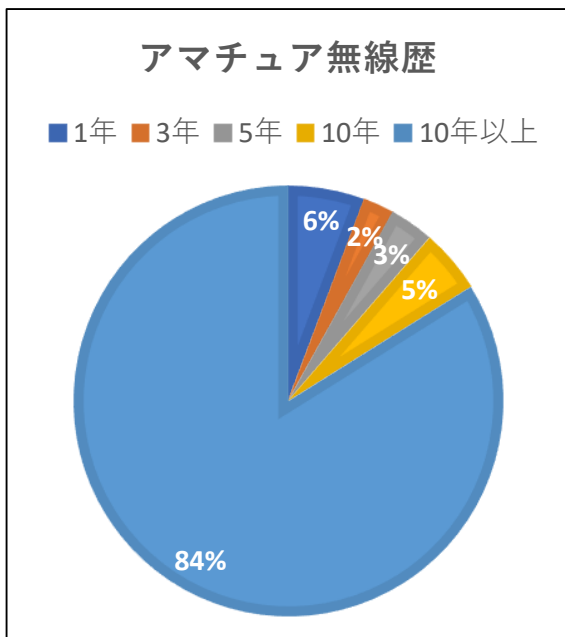
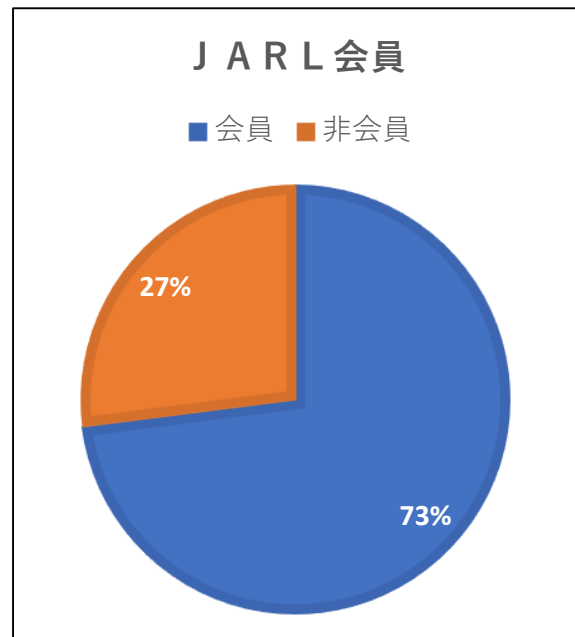
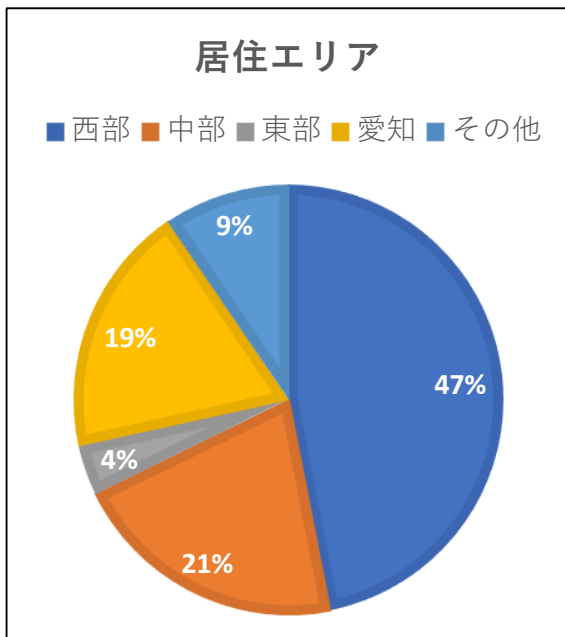
会場では、往年の名プレイヤーであるOMの皆様が参加され、昔話から現在の活動、さらには今後の無線界についてまで、さまざまな話題で交流を深めていました。また、ニューカマーの方々もその輪に加わり、アマチュア無線の魅力を感じていただけたことと思っております。

今年も多くのアマチュア無線家が集い、それぞれに充実した一日を過ごされたことと思っております。出展いただいたメーカー様、販売店様をはじめ、フリーマーケット参加者、各クラブ、そしてJARL関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

来年度は、2027年5月23日に、今回と同じ浜松卸商センター「アルラ」にて開催を予定しております。次回も「西部ハムの祭典」を参加者の皆様にとって魅力あるものとするべく、努めてまいります。今後とも、なお一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

別紙 令和8年度 静岡県西部ハムの祭典 アンケート結果まとめ

(推定来場者数 550名 アンケート回収数 211枚 回収率 38%)



アンケート内容

- ・お住まいの地域を教えてください。(西部 ・ 中部 ・ 東部 ・ 愛知県 ・ その他の地域)
- ・JARL会員について教えてください。(会員 ・ 非会員)
- ・アマチュア無線歴を教えてください。(1年未満 ・ 3年未満 ・ 5年未満 ・ 10年未満 ・ 10年以上)
- ・西部ハムの祭典への来場の回数を教えてください。(初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目 ・ 5回以上)